

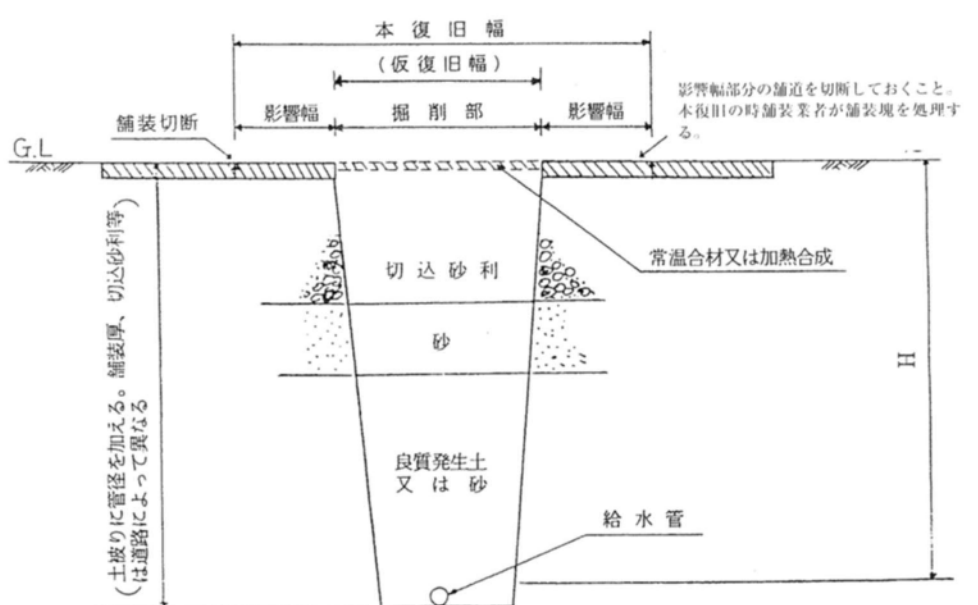
10. 土工定規

10.1 土工定規及び道路復旧

1. 掘削土工定規は、土質、道路形状等を考慮し、設計すること。
2. 管の埋設深さは、道路内で舗装の場合 1.20m、表面処理道路及び未舗装の場合は 1.40 mとし宅地内は 1.20mとすること
3. 道路復旧は、道路管理者の許可条件を遵守し、速やかに原形を復旧すること。
4. 舗装道路は、本舗装までの間、常温又は、加熱合材で仮復旧を行うこと。

1. 復旧標準図

図 10-1 舗装道路（アスファルトコンクリート道）



(注)

4. 上記の図は、原則的な復旧図であり、種々の現場に即応した許可条件になることがある。
5. 常温合剤又は加熱合材の厚さは、市道の場合歩道 2 cm、車道 4 cm（舗装厚 4 cm を超える）・ 3 cm（舗装厚 4 cm 以下）、都市計画道路 6 cm で行うこと。また、道道・国道に関してはその都度説明する。
6. 影響幅の寸法は表 10-1 を参照すること。

表 10-1

道路区分	影響幅の範囲	
	車道	歩道
市道	路盤厚	路盤厚
道道	路盤厚	0.3m
国道	路盤厚	0.3m

図 10-2 市道本復旧定規図

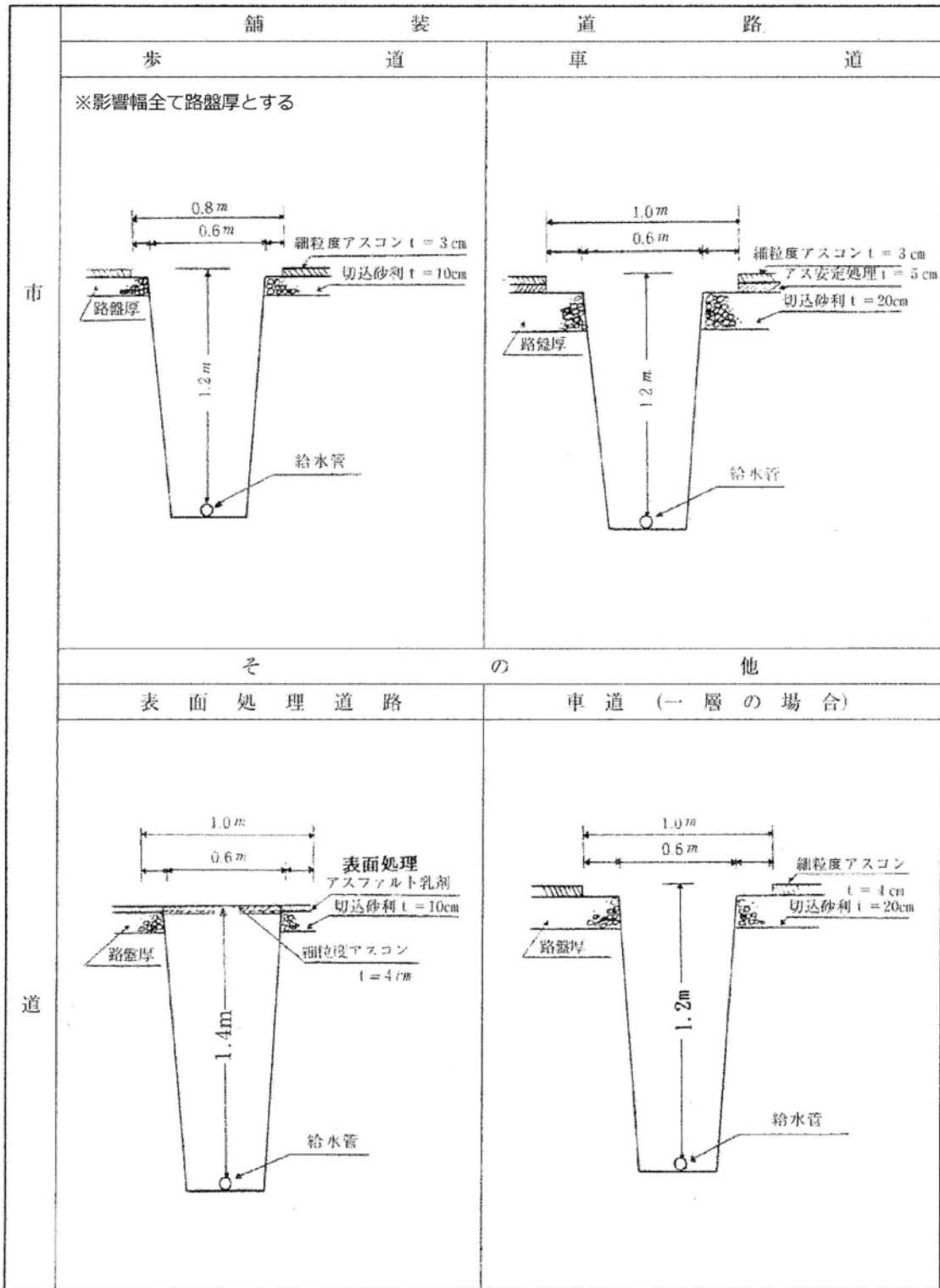
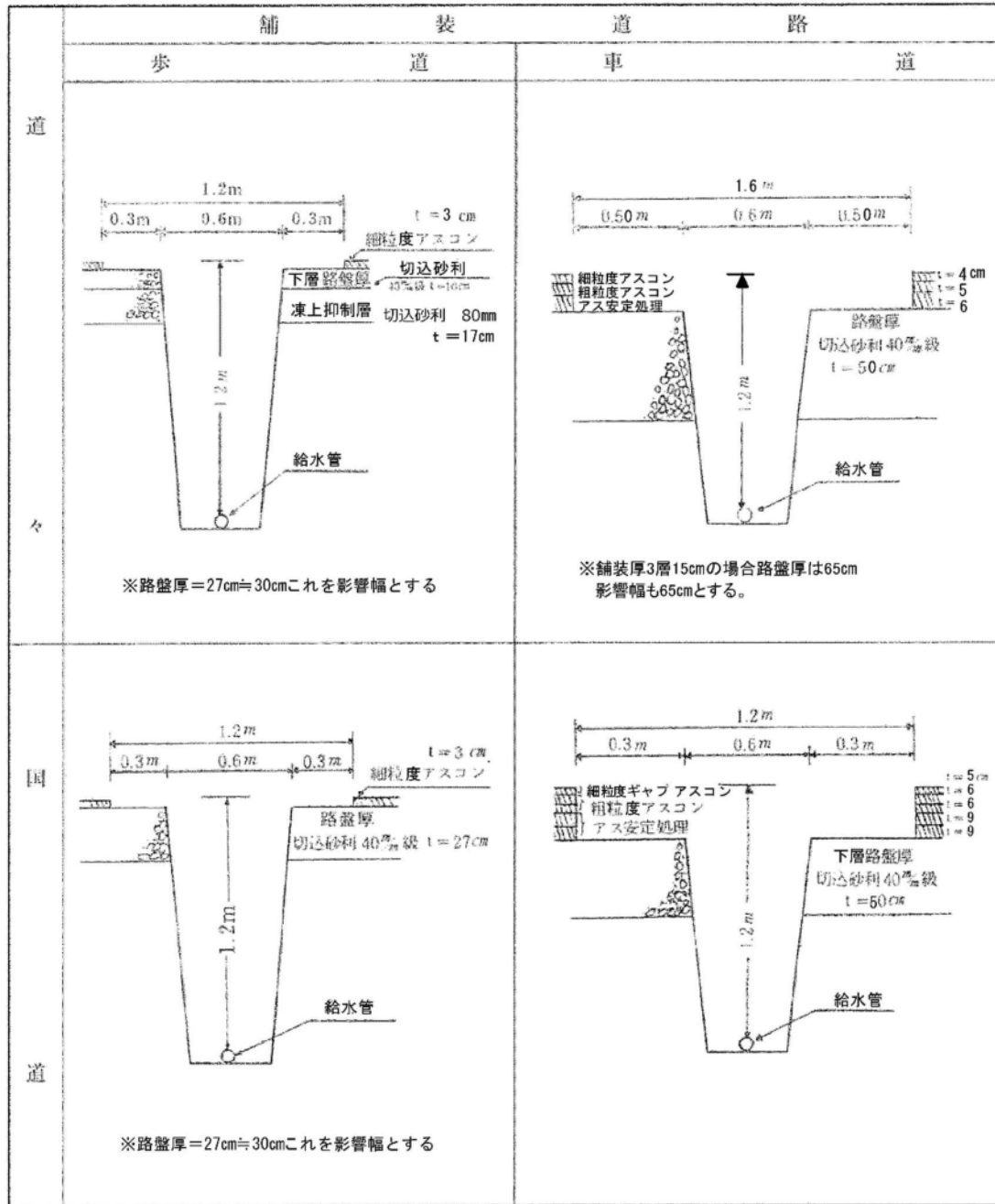


図 10-3 国道・道道本復旧定規図



(注)

1. 上記の図は、原則的な復旧図であり、種々の現場に即応した許可条件になることがある。
2. アスとはアスファルトの略、アスコンはアスファルトコンクリートの略。
3. その他の道路は道路管理者と協議して施工すること。

11. 図面の作成

11.1 図面

1. 図面は、設計における技術的表現であり、工事の施工及び工事費見積りの場合の基礎であると同時に、将来の維持管理のために必要な資料である。従って統一的な方法により、明瞭、正確、容易に理解できることが必要である。
2. 指定事業者は、工事の申請にあたって図面を作成し、市長の承認を得ることとし、工事完成時には承認図との変更点を修正し検定を受けること。

11.2 給水装置の図面作成要領

1. 図面は、所定の用紙（様式）に位置図、平面図、立面図、詳細図及び給水管情報を記載すること。
2. 記入にあたっては、定められた縮尺及び表示方法を用い仕上げること。

<解説>

図面の作成は、以下の要領に基づき行うこと。（記入例参照）

1. 方法

（1）記号

製図に用いる記号は、給水工事図表示記号（図表 11-1）を用いて、説明がなくても一見して誰にでも判別できるよう作図するものとする。なお、製図用記号によって使用材料が明らかにできないときは、その名称を付記すること。

（2）縮尺は 1/100 を標準とし、これによりがたい場合は、1/50～1/200 の範囲内とし、別途協議により詳細図を必要とするときは、その部分を拡大して表す。

（3）単位

ア. 長さの単位

長さの単位は口径にかかわらず、すべてメートル（少数第 1 位まで、例 13.5m）で表す。

イ. 口径の単位

口径の単位は、ミリメートル（例 13 mm）で表す。ただし、鋼管、給水栓（カラン）、及びバルブ類については、A 記号（例 20A）で表すこと。

（4）方位

原則として、北を上にして作図すること。

2. 作図

図面は次により作成するものとする。（作図例参照）

（1）位置図

位置図は、給水装置の設置箇所を明確に示し、住所・隣接建物名・主たる目標・通りの名称等を記入し、当該箇所に対し枠内に斜線を引き、引出し線により「申請箇所」と明示すること。

(2) 平面図

平面図は、その建物の位置、大きさを明確に記入し、次の事項について記入すること。また、受水槽以降であっても、参考図として平面を記入すること。

- ア. 分水栓、割T字管、仕切弁、バルブ、止水栓、メーター、水抜栓、給水栓等器具の取付位置。
- イ. 布設する管の種類・位置及び口径と各器具の寸法。
- ウ. 材質の種別。
- エ. 公・私有地及び隣接敷地の境界線、その他通過用地の境界線と位置並びに、これらの寸法。
- オ. 分岐しようとする配水管、給水管の管種、管径。
- カ. 隣地境界や最寄りの仕切弁等からの寸法。
- キ. 既設給水管から分岐する場合、計量栓番号、その系統図を明示すること。
- ク. 改造工事の場合、工事経過がわかるように→以降新設と明示すること。
また、既設給水管の施工年月日、施工業者名も明示すること。
- ケ. 新設工事において、既設取出箇所及び既設引込管を使用する場合は、その付近に施工年月日及び施工業者名を記載すること。
例 「H〇〇.〇.〇(柵)〇〇切替」 「H〇〇.〇.〇(柵)〇〇施工」

(3) 立面図

立面図は、給水装置を立体的に描き、平面図に表すことのできない部分を明瞭にするものであって、平面図の上向きの線は、立面図では、通常 45 度（右上り）、下向き線も同じく 45 度（左下り）の斜線で表し、立上りは（上向き）、立下りは（下向き）にし、縮尺は使用材料、施工法を実寸法に関係なく判別しやすいように書き表すこと。

- ア. 隠ぺい配管部分については、給水工事図表記号（図表 11-1）により明示すること。
- イ. 撤去工事は、立面図を省略することもできる。
- ウ. 受水槽以降については参考図として平面図で記入すること。
- エ. 直圧部分以降は省略することができる。

(4) 断面図

平面図、立面図に表すことのできない部分の切り口の面を明瞭にするものであって、側溝（L字、U字溝）・排水路・河川・鉄道等の伏越し、圧入工法及び盛土又は切土された道路等を横断並びに縦断する場合は、その部分の詳細を

明示するものとする。

3. 作成要領

(1) CADにより作成

(2) 配管図の色分け

ア. 複雑な場合、給水管：青色、排水管：赤色とする。

イ. 撤去給排水管：黄色。

(3) 用紙及び用紙の大きさ

ア. 用紙：上質紙又は、再生紙（コピー用紙含む）

イ. 用紙の大きさ：A-3判を標準とし、これによりがたいときは、A-2判（内容が多いもの）とする。

なお、参考図での規定外の大きさのものについては、A-4判に折りたたむとともに、部数が多いものについては、表紙を取付け散逸しないようにとじ込むこと。

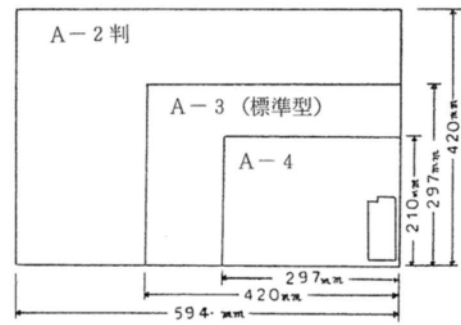
4. 申請図及び完成図

(1) 申請図：作成した申請図の右下隅に設置場所、所有者。工事種別、工期、計量栓番号、指定事業者名等を記入し、A-4判に折りたたむものとする。

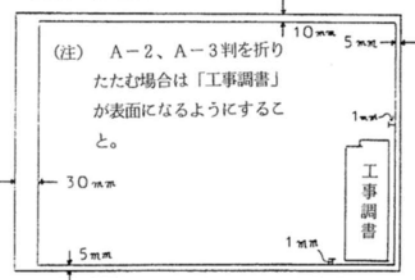
(2) 完成図：完成検査後、寸法等を訂正した完成図を作成し、A-4判に折りたたむものとする。また、1建築物に2つ以上メーターを設置する場合には、必ず図面に栓番号を記入すること。

図 11-1 給排水装置工事調書（※印に申請図又は完成図と記入して、共用すること。）

○図面の大きさ



○図面の枠取り




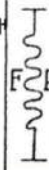


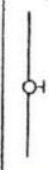


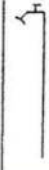






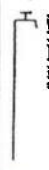



45mm	
15mm	30mm
※	
給水装置排水設備工事調書	
設置場所	町 丁目 番 号 番 地
所有者	
種 別	新設・改造・撤去・その他 給水 新設・改造・撤去・その他 排水
工 期	着工 年 月 日 竣工 年 月 日
控 番 号	普 計 第 号 臨 計 第 号
区 別	計 算 控 番 号 型 式 口 径 一 号 器 番 号 附 記
指定事業者名	
審 査 員	検 査 員
当初施 業 者 名	年 月 日

図表 11-1 給水工事表示記号

1. 給水管及び給水用具類

高置タンク	シスタン	特殊器具	ポンプ	屋内消火栓	逃し弁	吸気弁	逆止弁	減圧弁	バルブ類	止水 (φ13 ~ φ25)	サドル付分水栓	割T字管 (SS型ネジ込)	メーター (φ50以上)	メーター (φ13 ~ φ40)	撤去埋設管	布設替給水管	撤去給水管	既設給水管	新設給水管

平面図・上面図、共通









管径	屋外消火栓	不凍給水栓	水抜栓	平面図	フランジ	既設甲・乙分水栓	割T字管(F型バルブ)	割T字管(V型バルブ)	フラッシュバルブ	ボールタップ	プラグ	ソケット	エルボ	チーズ	ユニオン	片落ち管	管の交差	防護管(サヤ管)	低置タンク	
																				
	タンクレストイレ	FPステンレス管	フレキシブルチューブ	隠ぺい配管	屋内止水栓	不凍給水栓	水抜栓	カップリング付水栓	シャワーヘッド	衛生水栓	立水栓	散水栓	自在水栓	胴長水栓	横水栓		タンクレストイレ	立下り	立上り	一般器具(カラン等)

2. 管種類

管種	記号	継手記号
ダクティル鑄鉄管 K型	DIP(K)	
ダクティル鑄鉄管 T型	DIP(T)	
ダクティル鑄鉄管 U型	DIP(U)	
ダクティル鑄鉄管 A型	DIP(A)	
ダクティル鑄鉄管 S II型	DIP(S II)	
ダクティル鑄鉄管 NS型	DIP(NS)	
ダクティル鑄鉄管 GX型	DIP(GX)	
塗覆装鋼管	SP	
塩化ビニル管	VP	
ポリエチレン管	PP	

架橋ポリエチレン管	XPEP	
ポリブデン管	PBP	
亜鉛メッキ管	GP	
ステンレス鋼管	SUS	
銅管	CP	
塩化ビニルライニング鋼管	SGP-V	
ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP-P	
ヒューム管	HP	

3. 弁類の記号

名称	平面図	名称	平面図	名称	平面図
空気弁		消火栓 (双口)		私設消火栓 (双口)	
排泥弁		消火栓 (単口)		私設消火栓 (単口)	
地下式 消火栓		防火貯水槽			

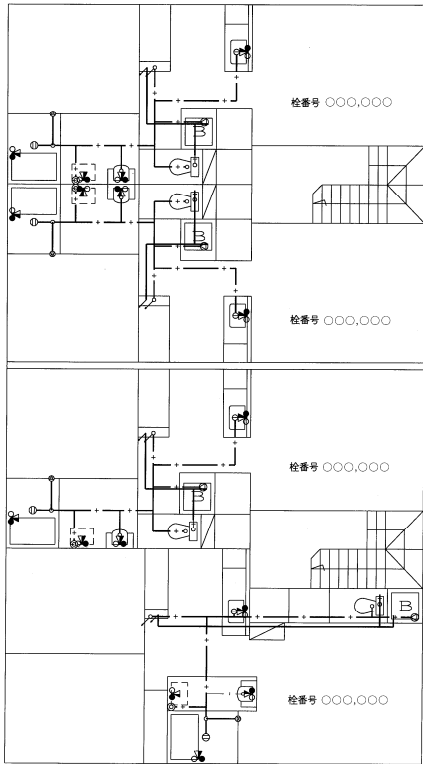
4. 異形管類 (T形・K形・NS形・GX形)

	直管	曲管			継輪	片落管 受挿し	片落管 挿受し	二受 T字管	三受 T字管	短管		フランジ付 T字管	
		90°	45°	22 1/2°						1号	2号		
T形											T		
K形	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)		 (特殊押輪付き)	 (特殊押輪付き)
NS形	 (5付付き)												
GX形	 (5付付き)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	 (G-Link付)	X		 (G-Link付)	

	フランジ短管 片フランジ短管	フランジ曲管		フランジ 片落管	二フランジ T字管	三フランジ T字管	その他	栓	乙字管	不断水割 T字管
		90°	45°							
フランジ										

※各表の名称、記号に適合しないものを使用する場合は協議すること。

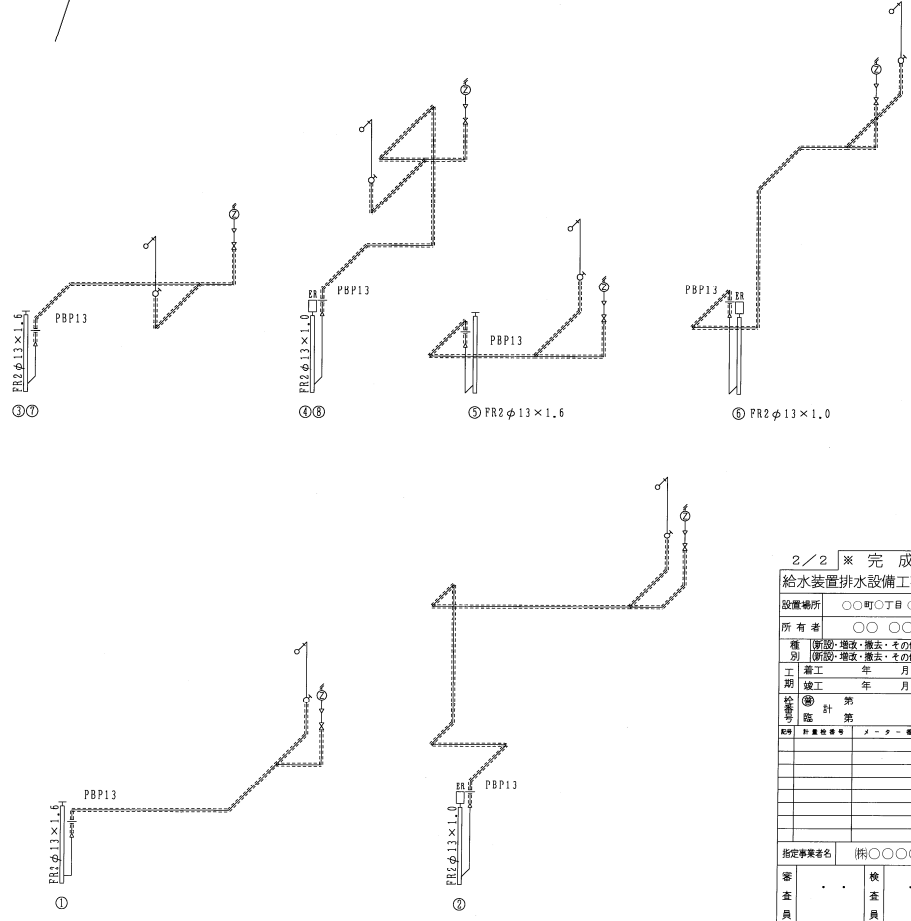
給排水工事申請図面 (記載例 2-2)



2階平面図



(JWWA認定) × 8



立面図

2/2 ※ 完成図

給水装置排水設備工事調書

設置場所 ○○町○○丁目○○番○号

所有者 ○○○

種 別 (修繕・増設・廃止・その他) (修繕・増設・廃止・その他) (修繕・増設・廃止・その他) (修繕・増設・廃止・その他)

工 期 竣工 年 月 日

給 費 計 第 号

図 号 第 号

図 号 第 号

図 号 第 号

指定事業者名 (株)○○○○

審 査 員 検 査 員

当初施工 業者名

受付 No.: ○○○○○○